

平成30年度 学校自己評価表 米子松蔭高等学校

| 学校教育目標 「社会で真に役立つ実践的な人材の育成」 |
|--|
| ① 自主自立の精神の涵養 責任と義務を尊重しつつ、自ら進んで目標に向かって努力する精神を養う。 |
| ② 人間性の陶冶 規律を守るとともに、人の苦しみや悲しみを正しく理解し、適切な行動のできる豊かで調和のとれた健全な人格の育成をめざす。 |
| ③ 勤労を尊重する精神の育成 勤労を尊重する精神を養い、社会に貢献しようとする意欲を育成する。 |
| ④ 進路指導の充実 生徒の興味・適性・能力を尊重し、適切な進路の決定ができるよう指導の充実を図る。 |
| ⑤ 学習指導の充実 わかりやすい授業を心がけ、生徒の適性に合った指導に努める。 |
| ⑥ 生活指導の充実 生活面の指導を大切に、正しい服装容儀、規律ある生活態度で生きる姿勢を育成する。 |
| ⑦ 部活動の充実 顧問と生徒が目標に向かって共に努力してゆく中で、協調性・責任感・忍耐力を養う。 |

| 本年度の重点目標 |
|--|
| 建学の精神に基づく特色ある教育を行い、社会に有為な人材育成に努める。知・徳・体のバランスがとれた人作りを目標とし、学習指導、生活指導、部活動に力を入れる。生徒の人間的成长を促し、生徒・保護者の夢につながる進路指導を行い、その成果により本校の社会的評価が高まり、本校が発展することを目標とする。 |

評価について A 達成できた B 概ね達成できた C やや不十分な点あり D かなり改善の余地あり E 全く不十分 () 評価せず または 評価できず

| 学年分掌 | 平成29年度末の状況 | 平成30年度の目標 | 具体的方策 | 中間評価 | 中間評価に対する改善点 | 最終評価 | 目標の達成状況 | 次年度引継事項・改善策など |
|------|---|--|--|---------------------------------------|--|---------------------------------------|--|--|
| 総務 | ○ 松萌会活動をより活発にするために、事業の見直しや専門部の統合について議論を重ねている。 ○ メール配信システムの加入率が中間評価時より増えなかった。 | ○ 松萌会の各事業への参加者を増やす。 ○ メール配信システムの加入者を増やす。 ○ 入試業務、渉外集計業務を円滑に行う。 | ・ 専門部の統合を進め、各事業の充実を図る。 ・ 定期的に参加状況をチェックし、担任の先生を通じて未加入の家庭に呼びかける。 ・ 入試については、確認作業を徹底する。渉外集計業務については各部署との連携を密にする。 | C C () | ○ 事業実施のための計画段階である。スムーズな運営のため、松萌会役員との連携を進める。 ○ 引き続きチェックを行い担任の先生を通じて未加入家庭に呼びかける。 ○ まだ本格的な活動ができていないので評価できず。 | B B B | ○ 専門部統合の過渡期にあるため多少の混乱はあったものの、松萌会役員と連携して事業を実施できた。 ○ 1学期末の加入率44.5%、3学期初めの加入率62.0%。2学期以後未加入家庭への呼びかけができず。 ○ 推薦・前期入試終了段階ではあるが概ね円滑に業務遂行できた。渉外集計業務については円滑な業務遂行ができた。 | ○ 専門部統合を推進し、それぞれの専門部が一体感をもった事業が運営できるよう、松萌会役員との連携強化に努める。 ○ 3年の家庭のみ対象となるが、2学期の段階でも未加入家庭への呼びかけを行い、緊急時の対応に役立てる ○ 入試、渉外業務ともに準備にゆとりを持ち、さらに円滑な業務遂行につとめる。 |
| 生徒募集 | | ○ 志願者数の増加と入学者の確保 ○ 開かれた学校づくりの推進と学校ブランディング | ・ オープンスクール、学校見学会の充実と参加人数の増加 ・ Webの充実 ・ SNSによる情報発信とWebへの誘導 ・ 学校PR動画の作成 | B A | ○ 第1回オープンスクールの参加者は前年度比20名増であった。第2回(10/13実施)も参加者数増を目指す。学校見学会は一学期3回行い参加数は例年より減少傾向にある。二学期は学校見学会を2回、入試説明会を4回予定している。 ○ 新しいWebページが開設され、SNSと共に稼働状況は良好である。閲覧数も確保できている。学校PR動画を作成し広報に取り入れることができた。今後は新しいテイストでより有効なPR動画の作成を試みる予定である。 | B A | ○ 初の試みとして部活動体験イベントを開催した。第2回オープンスクールは例年よりも30～40名参加生徒数が増加した。学校見学会を計5回、入試説明会を計4回行い、参加者数は学校見学会は前年度より減少、入試説明会は前年度並であった。 ○ ホームページの更新頻度を上げることができ、閲覧数も確保することができた。Instagramを開設するなど、新たな試みに取り組むことができた。新しい学校PR動画の作成やプレゼンテーション方法については引き続き検討事項である。 | ○ オープンスクールの開催時期や運営方法等の再検討 ○ 参加者増のための方策検討 ○ 広報活動の充実 ○ Webページの修正・更新 |
| 教務部 | ○ (教務) 生徒による授業アンケートの実施や、相互授業見学など学習指導の充実に取り組んだ。学習指導要領改訂に向け、より魅力的でわかりやすい授業を展開するためにICTの積極的な活用を模索した。 ○ (図書) 授業支援の回数増加、レファレンスの充実を努めた。生徒・教職員に迅速な資料提供をすることができた。利用者にメリットが実感できる、使える図書館を目指して取り組んでいきたい。 | ○ 学習指導の充実をさらに図る。 ○ 授業時間の確保に努める。 ○ 朝読書企画の定着を図る。 ○ 授業支援のさらなる回数増加、内容の充実を努める。 ○ 図書館の広報活動の充実を努める。 | ○ 「ICTを活用した授業」をテーマに研鑽をつむ。生徒による授業アンケート、相互授業見学は継続して実施。 ○ 月間・週間計画、日課の調整や変更を迅速に行う。 ○ 生徒の自発的な活動となるよう、クラス役員に協力を求める。 ○ 図書館ならではの授業支援を行う。生徒の思考を助けるツールやパスファインダーなどを作成、提供する。いつも生徒の気持ちに寄り添った支援に努める。 ○ 図書館でできることを生徒・教職員にわかりやすく、魅力的に広報する。担当職員は情報発信の頻度を上げるようにする。 | B A C A C | ○ 7月に第1回授業アンケートを実施した。より良い授業を展開するための授業見学もできている。2学期以降は「ICT活用」について考えたい。 ○ 特別活動やホームルーム活動を充実させつつ、授業時間の確保ができている。 ○ 職員朝礼時間と重なるため、状況を十分に把握できない。読書の秋にむけて、有意義な時間となるよう工夫したい。 ○ 思考ツールを提案したり、どのような本が、生徒にとって使いやすいかということを中心に選書した資料を貸出につなげ、様々な資料を授業で提供することができた。 ○ 生徒と一緒に、図書館に魅力を感じられる広報に努めなければならない。授業利用も増えているため、さらに図書館を活用しやすきたい。 | A A B A B | ○ 12月に第2回授業アンケートを実施。相互授業見学も行われている。3学期には、iPadを活用した研究授業を行い、ICTを活用した授業を考える良い機会となった。 ○ 年度を通じ授業時間は確保された。2・3年生は日替り7限授業を実施し、昨年度より時間増となった。 ○ 読書だけでなく、漢字・英単語の練習に取り組む姿が見られた。より有意義な時間になるように工夫が必要である。 ○ 「生徒の気持ちに寄り添った支援」を心掛けた。豊富な資料の提供、丁寧に迅速なレファレンスを行った。教職員に対しては資料提供はもちろん授業やLHRで活用できるツールの情報提供に努めた。 ○ 生徒が主体となった魅力的な広報を目標に企画をした。さらに生徒が取り組みやすい気兼ね、継続してできる広報活動について考え直す必要がある。 | ○ 特別進学コース・進学コースの新入生にタブレット端末を所持させるため、より充実した授業を展開する必要がある。 ○ 大型連休や、月曜日に祝日が多いことを考え、時間割の編成には工夫が必要である。 ○ 生徒同士で読書に取り組もうとする意識の共有をさせたい。 ○ 授業に合った、生徒に必要な資料が豊富に提供できること、図書館が使える場所だと感じてもらうようレファレンスを丁寧に行うことを徹底する。情報の古い資料については適切に廃棄する。 ○ 図書館でできることが視覚的にすぐわかるようなレイアウト、資料の配架方法、差込サイン等を一新する必要がある。生徒が主体となった広報活動にも力をいれていく。 |

| 学年分掌 | 平成29年度末の状況 | 平成30年度の目標 | 具体的方策 | 中間評価 | 中間評価に対する改善点 | 最終評価 | 目標の達成状況 | 次年度引継事項・改善策など | |
|-------|---|---|---|---|--|---|---|---|---|
| 環境保健部 | <ul style="list-style-type: none"> 各教室の清掃や学期ごとの大掃除などでは、熱心に清掃に取り組む姿勢が見られる。教室以外の清掃や部活動関係の清掃についても取り組みを見直さなければならない。 環境美化に取り組む意識は少しずつ育まれているが、電灯のスイッチ破損やゴミの投棄など自らの生活環境を守ろうとする意識にまだ欠けている生徒が見られる。環境美化、環境保全に取り組む意識を育てていきたい。 各講演会、研修会を行っているが、生徒が積極性に欠ける様子が見られるので、内容を吟味するとともに、環境や健康に対する意識を高めていきたい。 実際に想定した訓練ができるように工夫したい。 | <ul style="list-style-type: none"> 環境美化、環境保全に努める 施設・設備・備品を管理する。 生徒の健康保持・増進を図る。 生徒が安心・安全に学校生活を送れるように、また、災害から生命、身体を自らの力と協力で守れるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 校舎内外の掃除の徹底。学校周辺の地域美化活動を実施する。 省エネ、ゴミの分別などを通して、環境にやさしい生活を考えさせる。 備品等を整理し、管理を正確に遂行できるように、工夫する。 性教育の充実（1年生対象講演会）（職員研修会）救急救命蘇生法研修会 献血事業講演会 環境保健部講演会 火災避難、地震避難、津波避難、Jアラート対応、不審者対応を選択し訓練を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> C B B B | <ul style="list-style-type: none"> 日々の清掃や美化の日、大掃除の取り組みなど校内美化の取り組みはできるようになったが、省エネ、ゴミ分別などがまだまだ不十分である。 施設の修繕箇所等の報告等逐次してもらっている。備品については整理が必要。 1年生対象の性教育講演会は、実施して、生徒も性に対して真摯な姿勢で考えることの大切さを学んだ。その他の講演会などは未実施 火災避難訓練を実施した。他避難訓練は今学期中に計画実施の予定。 | <ul style="list-style-type: none"> B B A A | <ul style="list-style-type: none"> 日々の清掃、学期ごとの大掃除、クリーン作戦などの全校一斉清掃に対する取り組みなどにも教員、生徒が熱心に取り組んでいる様子が見られるようになった。部室の清掃など、部活で行う清掃がゴミの分別など、不十分な点が残るので、今後の改善に取り組むたい。 修繕・補修については逐次報告、作業をしいている。状況によって作業に時間差はあるが順次修繕・補修している。 1年生対象性教育講習会と献血事業講演会を実施した。 火災避難訓練と地震・津波の避難訓練を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 各教室の清掃や学期ごとの大掃除などでは、熱心に清掃に取り組む姿勢が見られる。教室以外の清掃や部活動関係の清掃についても取り組みを見直さなければならない。 環境美化に取り組む意識の個人差が見えてきた。ゴミの投棄・分別など自らの生活環境を守ろうとする意識にまだ欠けている生徒が見られる。環境美化、環境保全に取り組む意識を育てていきたい。 内容を吟味するとともに、環境や健康に対する意識を高めていきたい。 実際に想定した訓練ができるように工夫したい。 | |
| | 学年分掌 | 平成29年度末の状況 | 平成30年度の目標 | 具体的方策 | 中間評価 | 中間評価に対する改善点 | 最終評価 | 目標の達成状況 | 次年度引継事項・改善策など |
| | 進学指導部 | <ul style="list-style-type: none"> 進学説明会や進路ガイダンスについて、より効果的な時期や形式など検討したい。 指導部、担任、教科担当間の情報交換、共通理解を通じ、より適切な進路指導が行える連携の態勢をさらに強化・充実させる必要がある。 学習習慣の確立とともに、いかに学力の向上・定着を図るかについての検討が必要と考える。また、各種検定の積極的な受験を促すことで学習のモチベーションを上げていく事が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の進学への意識を高めていき、目標設定を明確にし、進路の保障に努める。 生徒の学力(GTZ)向上を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> 進学説明会や講演会、保護者懇談会を催し、保護者への情報の提供と共有を深める。 定期的に担当者で連絡会を設け、情報交換を行うことでより適切な指導を目指す。 必要に応じて個人面談を行い、学習や部活動・志望進路の状況を把握し、適宜指導が可能な状況を作る。 各種検定試験や模試を積極的に受験し、資格取得と自ら学習目標を設定しその達成に向け努力する姿勢を身につけさせる。 全教員の協力が必要と考えるので、各担当教科のレベル向上に加えて、進学指導に必要な知識の習得のための研修会を催す。 | <ul style="list-style-type: none"> B B | <ul style="list-style-type: none"> 3年生生徒たちは進路に対する意識が高く、各自必要な取り組みが出来ている。2学期以降は推薦・一般入試が始まり、全教員の協力により、生徒たちが希望する進路保障に努めたい。1、2年生に対しての取り組みがまだ不十分であるが、進路学習を通じて進学への意識を高めたいと考える。 外部模試での生徒の学力を教員全体で共有し、学力向上につながる指導を考えていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> B B | <ul style="list-style-type: none"> 3年生に対しては、6月のガイダンス・三瓶合宿など、また2学期以降の志望理由書・小論文・面接指導など十分に組み組めた。また、1、2年生に対しては、例年通り職業別・分野別ガイダンスを行い、進学への意識を高めていく。 特進・進学クラスなどでは、模試に対する取り組みが出来ているが、他クラスではまだその意識が低く、意識向上に向けた取り組みや工夫が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 例年実施している各学年の進学行事の時期や内容を改善していきたい。また3年生に対しては現在よりも早い段階で、志望理由書や小論文指導を行い、推薦規定の見直しも必要である。 生徒の学力向上を意識した授業内容及び授業を受けさせる体制作りが必要であり、また模試結果を教科担当で共有し、その都度、次回への改善点や対策を考える必要がある。 |
| | | 学年分掌 | 平成29年度末の状況 | 平成30年度の目標 | 具体的方策 | 中間評価 | 中間評価に対する改善点 | 最終評価 | 目標の達成状況 |
| 就職指導部 | <ul style="list-style-type: none"> たとえ好景気であっても、評価が「A」であっても大切なことは「生徒の能力・適性に応じた受験先の指導」で企業のネームバリューではない。生徒・保護者に理解を促したい。 生徒には早め早めの方向性の確立し、夏休み中の企業見学を促す。また、好景気故に安易な内定・選定がなされないように配慮していきたい。 誰の為の勉強で、なぜ努力が必要なのかを伝えることに力を入れたい。 就職するという心構えを再度伝えることに力を入れたい。 社会に出てから生徒達が困らぬように、コミュニケーション能力育成については教員が深く掘り下げて勉強する必要がある。今後も2年生進路学習LHRの内容を強化したい。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりをよく理解し、能力・適性に応じた進路指導に努める。 職業観の養成に努める。 学力向上に努める。 早期退職防止に努める。 コミュニケーション能力の向上に努める。(企業が一番求めているもの) | <ul style="list-style-type: none"> 「進路総合評価」「進路適性検査」を参考にし、担任又は就職・教育支援担当者、カウンセラー及び部活動顧問、家庭さらに関係機関との連携を密にし、個別面談を重ね、適切な進路指導に努める。 LHRを活用した進路学習・進路講話及び合宿、見学、体験、業者によるセミナーを通じ、生徒が自主的に積極的に自分の進路に向けて行動できるように導く。また、本年度は進路合宿の意義を教員目標、生徒目標、企業目標で熟考し、必要性の方向性を模索したい。 就職問題集・漢字テキストを配布し家庭学習を推進しながら、基礎力診断テスト及び毎週行う漢字テストで実力を把握し、「パワーアップ講習」「就職特別講習」「就職夏期講習」等で補い、就職試験に備える。 県内外の卒業生の就職先を訪問し、追指導を行なう。また、旧担任及び部活動顧問と連携し、仕事の継続を説く。尚、在学中は内定者を対象にした校長講話・進路講話等行ない、定着するように導く。 学校全体指導体制で行なう。昨年同様就職指導部としては早めに(2年時に)LHRなどを活用して、コミュニケーション能力の養成を行なう。 | <ul style="list-style-type: none"> A A B B B | <ul style="list-style-type: none"> まだ途中ではあるが、生徒の能力・適性に応じた受験先の指導に努めている。 6月・7月での保護者向け説明会・生徒向け講話など、あらゆる機会に応募前の会社見学の大切さを説明してきた。今後も2社目受験の生徒については応募前の見学をさせたい。また今年度は1年生の「総合的学習の時間」を有効に活用したい。 学校での取り組みは成果をあげている。また、もっと家庭学習を充実させる必要がある。 残念ながら、今年も早期退職者が多かった。「忍耐力」の一言で片づけられない内容もあり、実状をリサーチする必要がある。 3年生は2年次よりLHRを利用して強化している。2年次よりスタートし始める体制はいいと思うので本年度も具体的に実行に移せるよう学年部と相談して行く。 | <ul style="list-style-type: none"> A A A B A | <ul style="list-style-type: none"> 求人数が多く年でもあったので、生徒個々の能力・適性にあった企業のマッチングがスムーズであった。しかし、中には受験先・自身の方向性を期日までに決めかねる生徒がいた。保護者との話し合いができていない印象があった。 応募前職場見学させ受験するよう促し、納得して応募させているつもりだったが、今年も応募前職場見学しても、しっかりと企業研究が出来ていない生徒もいるようである。今後も課題としたい。 最低限の学力は入社試験に必要な要素で、入社後も実務で問われる場合もあり、学力面で生徒たちが就職先で苦労する事が予想される。早期から試験対策をして内定につながる様に今後も指導していきたい。 早期退職は予想より少なかった。昨年と比べても企業の新入社員への指導制度も充実しつつある。学校でもこれからは早期退職防止の追指導を行い、企業との関係を強化していきたい。 好景気を背景に新入社員の教育の仕方にも賛否両論ある。新しい文化がすぐに生まれる時代なので、教員側の勉強・理解も必要不可欠である。上手に取り入れコミュニケーション能力の向上に努め、企業側の意思も理解させたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の能力・適性に応じた受験先の指導をする。 生徒に多くの企業について詳しく知らせるため、夏休み中に複数の企業の職場見学を推進する。 家庭学習を推進するために、学校での取り組みのさらなる充実を行なう。 卒業生の職場での状態を少しでも早く把握し、早期退職を防ぐため、4月から県内の追指導を行なう。 繋がりのある指導体制を目指す。 | |

| 学年分掌 | 平成29年度末の状況 | 平成30年度の目標 | 具体的方策 | 中間評価 | 中間評価に対する改善点 | 最終評価 | 目標の達成状況 | 次年度引継事項・改善策など |
|---------|--|--|--|---|---|---|--|--|
| 生徒指導部 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 新年度より新入生合宿が廃止され学校でのオリエンテーションとなるが、今まで同様有意義なものとなるよう指導を行う。 ○ 挨拶、服装、学校規定靴の使用、校内での携帯電話使用の禁止、社会ルールやマナーの理解については、全校集会での講話や生徒指導部および担任の指導を中心に、継続して根気よく指導していく。 ○ 被害者情報の提供と注意呼びかけ、交通ルール遵守の指導を継続して行う。特に立ち番指導を強化していきたい。 ○ 引き続き関係教員との連携を密にして対応・指導を行う。 ○ ホームページ・まちこみメールを有効活用してもらう。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣を身につけさせる。 ○ 生徒が安心して通うことができるよう指導に努める。 ○ 問題行動に対して迅速適切に対処し、生徒の立ち直りと問題の拡大防止をはかる。 ○ 保護者の理解を得て、協力してもらうようにする。 ○ 学校視察を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 新入生オリエンテーションを通して学校生活に早く慣れさせる。 ○ 挨拶の徹底を全校集会やルームなどで呼びかけるとともに、通学指導などで教員からも積極的に声をかけてもらうようにする。 ○ 服装規定の遵守のため服装指導を徹底する。 ○ 社会のルールやマナーを理解し守るよう指導する。 ○ いじめを許さず、見逃さない。 ○ 登下校中に事故や被害に遭わないよう安全指導を徹底する。 ○ 生徒指導は基本的に全教員で行うことを確認する。 ○ 保護者への文書配布や松萌会活動との連携を密にする。 | <ul style="list-style-type: none"> B B A A () | <ul style="list-style-type: none"> ○ 継続してルーム、通学指導などで声かけをする。 ○ 基本的なマナーについて全校集会、学年集会などで指導を行う。 ○ 様子を見て、立ち番指導を増やすなど、粘り強い指導を行う。 ○ 生徒の言動に変わった様子はないか注意する。 ○ 交通ルールについて再度徹底する。また、立ち番指導も時折行う。 ○ 引き続き生徒、保護者、教員の連携を密にして対応、指導を行う。 ○ 再度、教員間での認識確認を行う。また、まちこみメール、ホームページを有効活用してもらう。 ○ 2学期以降予定 | <ul style="list-style-type: none"> B B A A () | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全般的には、落ち着いた学校生活を送っていたように感じるが、積極的に挨拶ができる生徒が少ないので継続が必要。服装面においても、決められた靴、防寒具など違反する生徒も何名かおり、指導を要する。 ○ 普段より担任を中心に生徒の状況を把握して、概ね適切に指導・対応ができていた。 ○ 登下校中の不審者被害が数件あったが警察との連携もしっかり取ることができた。 ○ 迅速に対応できた。 ○ 今以上に全教員での学校規則の把握を徹底させる必要がある。 ○ 私学県外視察を行ったが実施せず | <ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度より新入生合宿が廃止され学校でのオリエンテーションとなった。三瓶での2泊3日の張りつめた空気で進んでいた内容をやり方は変わっても身につけさせ挨拶や学校の方針等をオリエンテーションで学ばせる。 ○ 立ち番指導や日頃の指導を通じ継続して生徒の安全に努める。 ○ 校則など規則について保護者が理解できるように、生徒手帳の内容を状況に応じて改善が必要 |
| 人権教育推進部 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生導入学習、2年生部落差別(同和)問題学習を全体学習として行い、生徒の興味関心を高めることができた。 ○ 人権ホームルームについて、性的マイノリティーの方の人権問題を扱ったり、部落差別問題学習では人権劇を導入するなど、新しい試みを意欲的に行った。 ○ 言葉遣いアンケートは2学期終業式までに全クラス実施した。芸術鑑賞教室を人権教育講演会として実施するとともに、教職員対象の講演会を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育のホームルーム学習を見直す。1年次人権をめぐる諸課題、2年次部落差別(同和)問題、3年次就職・結婚差別問題の学習を引き続き進める。前年度取り組んだ全体学習の方法を引き続き進めるとともに、グループ別学習で学習意欲を高められるよう、資料調査・研究を進めたい。さらにいよいよ「差別解消三法」をふまえた人権の取り組みを推進したい。 ○ 言葉遣いアンケートを引き続き実施し、生徒一人ひとりが自他の言動を振り返り、心ない言葉の防止をめざす。人権教育講演会を、わかりやすく、意欲的な方をお招きして実施したい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 人権学習を、全体学習として行うなど、生徒の関心・意欲を高められるよう、創意工夫につとめる。 ○ 各学年別のテーマ学習をさらに深めるとともに、グループ別学習の資料調査・活用を行い、ワークショップ型のグループ・個別学習の方法を確立したい。 ○ 言葉遣いアンケートを2学期中に実施し、3学期とりまとめ、啓発する。人権教育講演会を2学期実施に向け、講師との交渉をすすめる。 | <ul style="list-style-type: none"> B () B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生導入学習、2年生部落差別問題、3年生就職差別問題を、全体学習として実施した。また、その際、言葉遣いアンケートの結果をふまえ、人権啓発に努めた。 ○ 各学年、テーマ別に、ワークショップをワークシートを活用して行うなど、創意工夫して人権ホームルームに取り組んでいる。毎時間、目標の設定、生徒に身につけさせたい技能・資質・姿勢を明らかにして学習を進めるよう心掛けている。 ○ 言葉遣いアンケートは2学期実施予定。従って、評価できず。 ○ 人権講演会について講師先生との日程調整、校内調整に努力した。 | <ul style="list-style-type: none"> B B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 人権学習、とくに人権ホームルームを、全体学習、クラス別学習を通じて実施した。鳥取県人権教育基本方針(第2次改訂)のうち、同和・人権教育で培われてきた原則をふまえ、各学年、自他の権利を基礎にすえたグループ学習を推進できた。資料調査・研究については、2年次にとどまるが、ネット・SNS問題に意欲的に取り組んだ。アウトティングなどの差別助長行為、プライバシーの権利の侵害を、自らに関わることとしてその対策を考えさせるなど、情報モラルにかかわる教育を推進できた。 ○ 言葉遣いアンケートを実施・集計後、目下、調査・啓発中である。心ない言葉に傷つく生徒がいることを、自らに関わる問題としてとらえたい。人権講演会は、講師の先生に渾身の力を振りしぼってご実施頂き、その後の人権学習でも活かされている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 中間評価に対する改善点のうち、「毎時間、目標の設定、生徒に身につけさせたい技能・資質・姿勢を明らかにして学習を進める」という点が必ずしも明確ではなかった。人権教育公開授業でもご指摘頂いたが、どのような生徒を育てたいのかという、人権教育でもっとも基本とすべき点をもっと大切にしていきたい。 ○ 言葉遣いアンケートの結果を、学年部ハイパー・QU調査、いじめ対策委員会の課題内容と重ね合わせ、協力連携体制が必要である。人権講演会は、講演者と本校状況をふまえた事前打ち合わせが必要であることを痛感した。 |
| 教育相談・支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 個別の支援計画の作成について、入学後、早期に取りかかり、教職員間で作成の流れを共通理解出来る様にしておく必要がある。 ○ 支援が必要な生徒の多様化、増加に対し、引き続き学年主任の協力、情報交換の場を持つ等の教育相談、支援体制のあり方を検討。 ○ 研修の参加について、生徒理解の一助として、今後も出来るだけ多くの先生方に呼びかけたい。 ○ 教育支援・相談のコーディネーターが必要であると思われる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 個別の教育支援計画の推進 ○ 入学時からの連携作り ○ 学校全体として支援理解を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の支援計画の作成について流れを共通理解し、早期に取りかかれるようにする。 ・ 担任と教科担任との連携深め、支援の早期対応につなげる。 ・ 教育相談・学年担当の先生方を活用・協力して頂き、生徒のニーズの多様化に対応していく。 ・ 担任、教科担当、養護教諭、外部機関(医療・福祉等)を交えた連携会議を定例化していく。 ・ 研修会・講演会等の参加を積極的に促す。 ・ SC・SW・サポステ連携を通じて学校全体としての支援理解・学びを深めていく。 | <ul style="list-style-type: none"> B B B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 流れの共通理解が不徹底だった部分があったが、昨年度より早く作成することができた。 ○ 進級して学習の取り組みに悩みを持つ生徒がでてきており、教科担当との相談の機会をもっと作る必要がある。 ○ 各学年の教育相談・支援担当の情報交換を積極的に行いたい。 ○ 月に1回のペースで校内連携会議を行うことができ、また校外の関係機関とのケース会議をもつこともできた。 ○ クラッシーで研修会の案内を行った。 ○ SC、SSWとの連携は定着してきたが、連携の重要性の理解をさらに深めていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> B B B | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1学年全体として、個別の支援計画作成への協力・推進が図られた。 ・ 担任・学年主任・養護教諭・部活動の顧問を中心としたクラス支援、生徒支援の連携ができた。 ・ 支援、ニーズの多様化に対し、校内・校外問わず情報交換の場をより多く持つ必要がある。 ・ 校内連携会議を行い、校外の関係機関とも連携をはかることができた。 ・ 教育支援担当者以外の教員にも、研修の案内を行うことができた。 ・ 連携の重要性の理解をさらに深めていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の支援計画の作成について、全教員に作成についての共通理解ができるようにしておく必要がある。 ・ 支援が必要な生徒の多様化、増加に対し、支援体制のあり方をさらに検討していきたい。 ・ 研修では情報交換もできるので、多くの教員に参加を呼び掛けていきたい。 |
| 生徒会 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度は定期的に打ち合わせや話し合いができたが、より一層、生徒会が学校の中心として活動できる環境をしっかりと作っていききたい。また、来年度より学校行事の大幅な見直しが行われ、学校祭として体育祭・文化祭が同時期に行われる。新たな取り組みとなるので、しっかりと話し合いの場を持ち成功に向けて準備を進めていく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事の充実 ○ 生徒会活動の充実 ○ 他分掌との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 7月のスポーツ祭および9月の学校祭が充実したものになるように、計画・実施をする。 ○ 各クラスの中央委員との連携を図る。 ○ 学校生活をより充実したものにするために、全校生徒へアンケートを行う。 ○ 放課後に教室点検を行う。 ○ ボランティア活動の呼びかけをし、生徒の参加を促す。 ○ 他分掌と、お互いの要請等により活動を計画・実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> B B B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 7月のスポーツ祭は、台風のため初日のみの実施となった。スポーツ祭2日目、学校祭については、実施に向けて現在準備している最中である。 ○ 2学期実施予定である ○ 2学期実施予定である ○ ボランティア活動は適宜案内し、多くの生徒が参加している。 ○ 学期末懇談時に駐車場整理を行った。今後も引き続き、他分掌との連携を取っていききたい。 | <ul style="list-style-type: none"> A B A | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各行事において執行部が中心となり、滞りなく実施できた。今後も新たな試みや、見直しを図りながらよりよい学校行事としていきたい。また初となる学校祭についても多くの協力の中、盛大に開催することができ、大いに盛り上がった。 ○ アンケートに関しては実施することができなかったが、数多くの意見を頂いたので今後の検討課題として反映させていきたい。また教室点検については放課後見回って、気になる箇所の清掃等を行った。ボランティアについては案内を行い、多くの生徒がボランティア活動に参加している。 ○ 今年も多くの部署と連携させて頂いた。学校を盛り上げていけるように、今後も継続して行っていきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校祭については時期に合わせた内容の見直しを考えていきたい。また、余裕を持って準備できるように早めに取り組む必要がある。 ○ 生徒総会で審議や報告できるように、早めの実施が必要である。 ○ 学校の中心として活動できるように、積極的に関わっていききたい。 |

| 学年分掌 | 平成29年度末の状況 | 平成30年度の目標 | 具体的方策 | 中間評価 | 中間評価に対する改善点 | 最終評価 | 目標の達成状況 | 次年度引継事項・改善策など |
|------|---|--|---|--|---|--|---|---|
| 一年部 | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の確立 ○ 学習習慣の確立 ○ 家庭との連携 ○ 人権意識を育てる | <ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶・正しい服装を定着させる。 ○ 早寝・早起き、食事、健康面の管理に努め基本的な生活習慣を身につけ遅刻・欠席をなくすよう指導する。 ○ 授業に集中して話を良く聞き日頃より家庭学習に取り組む姿勢を指導する。 ○ 保護者へクラッシーの活用を促す。 ○ 学校からの配布物は必ず保護者に渡し、回答が必要な場合は必ず提出するよう指導する。 ○ 状況に応じて保護者へ連絡をとり、情報交換を行う。 ○ 学級活動や学校行事を通じてお互いを思いやる心を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> B B B C | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら挨拶ができるように学年全体で取り組みたい。 ○ 学期当初は少なかったが徐々に増えてきた。生活の乱れがでないように指導していきたい。 ○ 授業に集中し、提出物は期限を守るように継続して指導する。 ○ 懇談会や生徒を通じてさらに呼びかける。 ○ 配布物はその都度、保護者に渡すように生徒に伝え、HPも確認してもらうよう呼びかける。 ○ 家庭との連絡がこまめにでき連携がとれた。 ○ 意識の希薄な生徒がある為、クラス・学年全体で指導を継続していく。 | <ul style="list-style-type: none"> B B B B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶は声の小さい生徒もいるが概ね出来ている。服装も正しく着こなしている生徒が大半である。 ○ 学校生活に慣れ落ち着いてくるにしたがって減少してきている。 ○ 授業は大半の生徒が集中して取り組んでいるが、日頃の家庭学習に取り組む生徒がまだ少ない。 ○ まだ保護者全体が活用できていない状態ではない。 ○ 配布物の受け渡しは概ね良好である。 ○ 家庭との連絡がこまめにでき連携がとれた。 ○ 各クラスとも友達と交流し、落ち着いた様子が見えてきた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら挨拶出来るよう継続して指導し、服装の乱れが出ればその都度指導していきたい。 ○ 連続した欠席や遅刻がある場合は早めに家庭と連携をとる。 ○ 日頃の家庭学習の大切さを指導していきたい。 ○ 生徒や様々な機会を通じて継続して呼びかけていく。 ○ 次年度も保護者に渡るように呼びかけを継続していく。 ○ 次年度もこまめに連携がとれるように努力する。 ○ お互いを認め合い成長できるように指導していきたい。 |
| 二年部 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの目標を達成できるよう、HRや朝の見回りを通して根気強く指導、声掛けを継続している。 ○ 遅刻、欠席が連続する場合は早い段階で声掛けや家庭との連携を行い、長期化防止に努めている。 ○ 毎日の学習習慣の定着を目標に指導を行っている。 ○ 「まちコミメール」の未登録者に登録呼びかけを継続して行っている。 ○ 保護者・家庭との連携に努めている。 ○ 昨年度は配慮を欠く言動によるトラブルが見られた。互いの価値観や感性を尊重し、相手を思いやる人間に成長できるよう指導に努めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の定着 ○ 主体的に学習に取り組む姿勢の確立 ○ 家庭との連携 ○ 人権意識の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「挨拶・返事」、「時間を守る」、「正しい服装」の定着を図る。 ○ 自主自律に努め、充実した高校生活を送るよう指導する。 ○ 進路について考え、授業や家庭学習に目的を持って取り組むよう指導する。 ○ 保護者との連携を深め、学校での状況や家庭の様子について共通理解を図る。 ○ 学校行事や学級活動を通して、互いを思いやり尊重する心を育む。 | <ul style="list-style-type: none"> B B B B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 元気な挨拶、正しい服装ができていない生徒もいる中で、声掛けに対して反応の薄い生徒も一部見受けられる。根気強く指導を継続していきたい。 ○ 遅刻、欠席が連続する場合は早い段階で声掛けや家庭との連携を行い、長期化防止に努めたい。 ○ 毎日の授業や定期考査、外部模試などにそれぞれが具体的な目標を持って取り組むよう声掛けを継続していきたい。 ○ 遅刻・欠席が続く生徒や気になる言動がある生徒について、担任がこまめに家庭連絡をし、共通理解と連携を図ることができている。継続して取り組みたい。 ○ クラスを越えた交流も増え、学年としてのまとまりもできつつある。互いを思いやり、良好な人間関係を構築していくよう声掛け、指導を継続していきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> B B B B | <ul style="list-style-type: none"> ○ HRでの指導や朝の見回りを通し、徐々にではあるが生徒自らが挨拶や時間遵守、服装について意識できるようになってきている。 ○ 精神的ストレスから休みがちな生徒も少なくないが、欠席を長引かせないよう自分でコントロールできる力も備わってきている。状況に応じて教育相談・支援担当者との連携して生徒の指導にあたった。 ○ 進路学習を通して進路について考え、毎日の学習の大切さを確認した。意欲的に学習に取り組む生徒がいる一方、目標が定まらず、受身の学習に留まっている生徒も見られる。 ○ 保護者との連携は概ねスムーズに行えている。 ○ 小さな行き違いやトラブルはあるが、学年全体としては落ち着いてきている。他者に向けられた不適切な言動も傍観せず、教員に相談するなど、行動に移せる生徒もあつた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 最上級生として下級生の範となるという自覚を持たせ、3つの目標のさらなる定着を目指す。 ○ 各自が目標とする進路に進むためにも主体的に学習に取り組むことが大切であることを呼びかけ、生徒の意識を高める指導を行う。 ○ HRや学校行事を通し、仲間づくりや良好な人間関係構築に努めるよう声掛けを行う。 |
| 三年部 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も朝読書の啓発・朝の見回り・服装指導・遅刻をなくすよう継続して努める。 ○ お互いを思いやり・人権を尊重し合える学級づくりを目指し引き続き努力する。 ○ 生徒一人一人が、希望の進路につけるように、生徒・保護者との連携を取りながら面談や指導を重ねて細やかに指導していきたい。 ○ 言葉遣いや態度が荒い生徒も一部いるが、継続して指導して行きたいと思う。 ○ 3年生としてリーダーシップが取れるよう自覚を持たせ、模範的な学校生活が送れるよう心がけさせる。 ○ 学校行事やクラス運営を通して、社会性・人間性を身につけて少しずつ成長した。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の確立 ○ 進路指導の充実 ○ 愛校心を育む ○ 社会性・人間性を養う | <ul style="list-style-type: none"> ○ 欠席・遅刻のないように、朝読書の時間に見回り、始業前には全員を席に着かせる。 ○ あいさつや服装の指導を徹底する。 ○ 進路合宿を通して、目標を明確にし、それに向かって計画的に努力する姿勢を身につける。 ○ 進路懇談や説明会を通してきめ細かに対応する。 ○ 学校外でも松蔭高校の生徒であることを自覚し、恥ずかしくない言動が取れるよう促す。 ○ 登下校時のマナー・挨拶等、地域の方にも気持ちよく接する。 ○ 進路決定に向けて、互いを尊重し、協力しあう関係をつくる。 ○ 進路決定後も社会から必要とされる人材となるべく継続して指導する。 | <ul style="list-style-type: none"> B B B B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 朝礼前の担任指導の効果が顕著となり遅刻者の数がかなり減った。継続して指導する。 ○ 挨拶・服装ともに学校内外でもきちんとできるよう継続指導する。 ○ 進路合宿に関しては合宿の目標を概ね達成することができた。 ○ 懇談や各説明会を通じ生徒の進路に対し保護者との連携がはかれた。 ○ 各部活動で最高学年として各大会に臨み松蔭生としてよく頑張った。 ○ 登下校時のマナー・挨拶等、更に改善できるよう継続指導する。 ○ 就職・進学分かれるがクラス学年内で進路意識の高揚が見られた。 ○ 進路決定に全力で向かえるよう継続指導する。 | <ul style="list-style-type: none"> B A B B | <ul style="list-style-type: none"> ○ 今まで通り朝礼前の担任指導・見回り指導を行うものの、進路決定後は気持ちの緩む生徒が見られた。 ○ 気持ちの緩みによる服装の乱れのある生徒が見られた。 ○ 進路決定に向けて担任・担当教員と共に一生懸命取り組む姿が見られた。 ○ 保護者との連携もとれ、懇談・説明会を通じ進路に関する様々な情報提供ができた。 ○ 各部活動などの大会では上級生として模範を示す頑張りが見られた。しかし、部活動引退後に関しては、模範となる行動が見られず指導することがあつた。 ○ 登下校時のマナーや挨拶等はきちんとできる生徒とできない生徒で差が見られた。 ○ 今年度実施された言葉遣いアンケートなどの結果でも、各クラス協調性や相互理解の姿勢が見られた。 ○ 進路決定は概ねできたものの、学校生活を通じてお世話になった方々への感謝の気持ちを表すことができる卒業式にしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 進路決定は概ねできたものの、学校生活を通じてお世話になった方々への感謝の気持ちを表すことができる卒業式にしたい。 |